

のぞみ学級
生活単元学習

単元名 先生にネームカードをつくろう
令和5年 5月29日(月) 5校時
児童 のぞみ学級2名(2年生2名)
場所 のぞみ学級
授業者 北垣 美智子



1. 単元設定の理由

(1) 学級の児童の実態

本学級には、認知等の発達に課題があるが日常的なことを色々と話せる児童と、語彙数が少なくことばによるコミュニケーションに課題のある児童がいる。2名は誘い合って一緒に遊んだり、役割を分担して当番活動を行ったりすることができるようになってきた。しかし、のぞみ学級以外の児童や教師に話しかけられると、緊張したり、戸惑ったりする様子が見られる。

そこで、体育・図工・音楽などの共同学習に取り組んだり、給食交流を行ったりすることに加え、生活単元学習を通してのぞみ学級以外の他者と関わる経験を積み重ね、コミュニケーションの力を高めていきたいと考え、以下の単元を計画した。

(2) 単元の位置づけ

1年間を通して、どの単元においてものぞみ学級以外の他者と関わる場面を設定する。児童が自分の言動を振り返ることを通して成功体験からコミュニケーションに対する自信を育てていきたい。【表1】また、生活単元学習で大切な「計画・準備(練習)・実施・反省(再計画)」のサイクルを毎回行うことで、児童が見通しをもって活動し、問題を解決していく過程を経験していくようにする。

【表1】

年間計画(仮)	年間を通した活動
先生にネームカードをつくろう	カレンダーを届けよう
しゃぼん玉であそぼう(1年)	○地域とのつながり
収穫祭をしよう(教員)	・あいさつ
発表会の準備をしよう	・渡す時の言葉
クリスマス会をしよう	・問いかけへの返答
節分をしよう	・公共施設でのマナー
卒業式に向けて(6年)	・交通ルール
	・季節ごとの花々
	・天気と服装

本単元「先生にネームカードをつくろう」は、児童にとって身近である交流学級担任と関わる場面を設定した。児童の興味関心を高めるため、ものを作りプレゼントする活動とし、相手意識をもたせるために「好きな色を聞く」→「プレゼントの色にする」こととした。また、単元が終了したあとも自分が作ったネームカードが使われている様子を目にすることができることで、達成感や満足感を得ることができると考えた。

(3) 研究とのかかわり

指導にあたって、児童が見通しを持ちながら活動に参加することができるように、教師が見本となる行動を実際にやって見せる、写真やカードを使って説明するなどの工夫をしたい。加えて、考えたり発想したりすることが難しい内容においては、選択肢の中から選ぶようにすることで主体的に活動できるようにしていく。また、学習効果を高めるために、国語で気持ちや様子を表す言葉を学習したり、算数や図工で形や色の学習をしたりするなど、他教科との関連を図っていく。

教師の姿	
仮説①	仮説②
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味や関心、得意な面に着目する。 ・活動の内容、めあてをわかりやすく提示する。 ・視覚的な教材の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向のコミュニケーションを意識したやりとりのモデルになる。 ・発言や行動を促すために、必要に応じた助言をしたり思いを代弁したりする。 ・コミュニケーションの楽しさを伝え、場面によっては小さな言い間違いにこだわらない。

2. 単元目標

日常生活に必要な話し言葉の意味や内容に気付き、教師や友達と一緒に使うことができる。

(知識・技能)

ネームカードを渡すまでに必要な活動がわかり、見通しをもって活動することができる。

(思考・判断・表現)

教師や友達と一緒に意欲的にネームカード作りに取り組もうとすることができる。

(学びに向かう力・人間性)

3. 単元の指導計画 (全6時間 本時1/6)

時数	学習活動【関連教科】	目標
1	<計画> ネームカードを作ってわたす計画を立てる。 【国語】【生活】【道徳】	<ul style="list-style-type: none"> ・ネームカードを作る活動の流れを考え、計画書を書くことができる。 ・相手を喜ばせるネームカードづくりの工夫を考えようとするすることができる。
2	<準備1> 好きな色を聞く練習をする。 【国語】【生活】【図工】	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな色の聞き方がわかる。 ・友達と役割分担をして好きな色を尋ねようとするすることができる。
	<準備2> 休み時間 米野先生に好きな色を聞く	
3	<準備3> 協力してネームカードをつくる。 【図工】【生活】【道徳】	<ul style="list-style-type: none"> ・アイロンビーズで作る文字のバランスを考えることができる。 ・図案通りにネームカードを作ることができる。
	<実施> 休み時間 米野先生にネームカードを渡す。	
4	<反省・再計画> 単元を通した活動の様子を振り返る。 【国語】【生活】【図工】	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったことや、自分ができたことを考え発表したり絵日記に描いたりすることができる。 ・活動を振り返り、次にやりたい活動を考えようとするすることができる。

4. 本時の指導

- ・ ネームカードを作る活動の流れを考え、計画書を書くことができる。（思考・判断・表現）
- ・ 相手を喜ばせるネームカードづくりの工夫を考えようとしている。

(1) 児童の実態と個別目標

児童	児童の実態	本時の個別目標・評価	個別の手立て
R	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に意欲的である。 ○周囲の人の行動を見て正しい行動をとろうとすることができる。 ○2語文で話すことができる。 ○「～どうしたい？」と相手に尋ねることができる。 ○「わからない」と言葉で伝えることができる。 △言葉だけでは活動をイメージすることが難しい。 △語彙が少なく、長い文章を理解することが難しい。 △言葉のまとまりを意識して読むことが難しい。 △場面にそぐわない声の大きさを話すことがある。 △集中の持続が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を読み、ネームカードを作る活動を楽しみにすることができる。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書や手紙は、短い文章かつ単語に区切って書く。 ・視覚的に理解できるように、教具を用意する。 ・多様な活動を組み合わせ、飽きさせない授業展開にする。 ・発言の機会を保障するため意図的に指名する。
Y	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に意欲的である。（特に漢字の学習） ○教師の指示を理解して、考えたり行動したりできる。 ○「～どうしたい？」と相手に尋ねることができる。 ○例があるとそれをヒントに思考することができる。 △「難しい」「わからない」と思うと背中を丸めて縮こまり、活動をやめてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考のヒントになるよう計画的に板書する。 ・教師が例を示すことで、思考を促したり自分の考えに自信をもって発表したりできるようにする。 ・思考の助けを提示するが、自分で考える時間を確保するように配慮する。

(2) 目標

- ・ネームカードを作る活動の流れを考え、計画書を書くことができる。(思考・判断・表現)
- ・相手を喜ばせるネームカードづくりの工夫を考えようとしている。
(学びに向かう力・人間性)

(3) 展開

	学習内容と教師のかかわり	児童の活動 (予想される発言)	◆支援(研究との関わり) ○留意点 □評価
導入	<p>○ある人からビデオメッセージが届いているよ。</p> <p>1. 手紙を読んで、内容のたいをつかむ。</p> <p>○手紙を読んでみよう。</p> <p>○ゆりこ先生の願いは何でしたか。</p> <p>○どうしようか。</p> <p>○ゆりこ先生にネームカードを渡したらどんな顔するかな。</p>	<p>・動画を見て、米野ゆりこ先生(交流学級担任)から手紙が届いていることを知る。</p> <p>・二人それぞれが自分宛てにきた手紙を読む。(一人読)</p> <p>・友達や教師に伝わる声の大きさと読む。(発表)</p> <p>・「つくってって書いてる」</p> <p>・「アイロンビーズのネームが欲しいんだって」</p> <p>・「つくってあげる」</p> <p>・「すぐやろう」</p> <p>・笑顔、泣き顔、怒り顔から選択する。</p>	<p>◆動画で児童に語り掛けることで、相手意識を高める。</p> <p>◆手紙の文章量や漢字の使用など、児童の実態に合わせて個別に準備する。</p> <p>◆声のものさしを見せ、適切な声の大きさを確認してから取り組む。</p> <p>◆R児から発言するように指名し、Y児がその補足説明をする流れをつくる。</p> <p>◆活動の開始が、児童の選択によって決定できるようにする。</p> <p>◆活動の結果をイメージさせることで意欲を高める。</p>
展開	<p>ゆりこせんせい、にこにこ さくせんを たてよう</p> <p>2. 相手を喜ばせる工夫を考える。</p> <p>○ネームカードをあげたら笑顔になりそうだね。もっと喜ばせる作戦はあるかな。</p> <p>○こんなことを言って喜んでくれる人がいたね(お店屋さんごっこでアイロンビーズ作品を買って喜んでくれる教師の写真を提示する。)</p>	<p>・「どうぞって言ってわたし」</p> <p>・「わかんない」</p> <p>・「ゆりこ先生に好きなものを聞こうか」</p> <p>・「好きな色も聞いてみる」</p>	<p>◆板書は単語に区切って書く。</p> <p>◆本時の最後に計画書を書くことを知らせ、学習の見通しをもたせる。</p> <p>◆児童の様子を観察しながら、思考の助けとなる写真を提示するタイミングをはかる。</p>
終末	<p>3. 必要な活動とその順番を考え、計画書を書く</p> <p>○まず何をしたらいいかなその次は?</p> <p>○ペープサートで計画したことをやってみます。うまくいくかな。</p>	<p>・「色を聞く」</p> <p>・「ネームカードをつくる」</p> <p>・「よねの先生にわたし」</p> <p>・「だいじょうぶそう」</p> <p>・「ネームを作る前に好きな色を聞かなきゃダメだ」</p>	<p>□相手を喜ばせるネームカードづくりの工夫を考えようとしている。(態度)</p> <p>◆必要な活動のヒントになるように、キーワードを目立つ色で板書しておく。</p> <p>◆ペープサートを用いて児童が考えた活動の流れを演じることで、活動をイメージさせ見通しを持たせる。</p>

<p>○計画書を書きましょう</p> <p>4. 本時の学びを振り返る</p> <p>○振り返りカードを用意しよう。</p> <p>○今日の学習をおさらいしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を読んだ ・色を聞く作戦を考えた ・計画書を書いた <p>○まず先生の振り返りを発表します。</p> <p>○振り返りを発表しましょう。</p> <p>○つぎの学習では、好きな色を聞く練習をしましょう。</p>	<p>・2人で1つの計画書を書く。</p> <p>・自分の振り返りカードをロッカーに取りに行く。</p> <p>・R 児は気持ちイラストから今日の学習に合うものを選ぶ。</p> <p>・Y 児は話形から選び振り返りを発表する。</p>	<p>◆書く項目の分担をわかりやすくするため児童の顔カードを用意する。</p> <p>□ネームカードを作る活動の流れを考え、計画書を書くことができる。(思考・判断・表現)</p> <p>◆意図的に動く活動を設定する。</p> <p>◆教師が例を示すことで思考の手助けをする。</p> <p>◆実態に合わせて、個別に振り返りの仕方を設定する。</p>
--	---	--

(4) 本時の評価

- ・ネームカードを作る活動の流れを考え、計画書を書くことができたか。(思考・判断・表現)
- ・相手を喜ばせるネームカードづくりの工夫を考えようとしていたか。(態度)

5. 板書計画

○ゆりこせんせい にこにこ さくせんを たてよう

米野先生の顔

↑

ネームカード
の写真

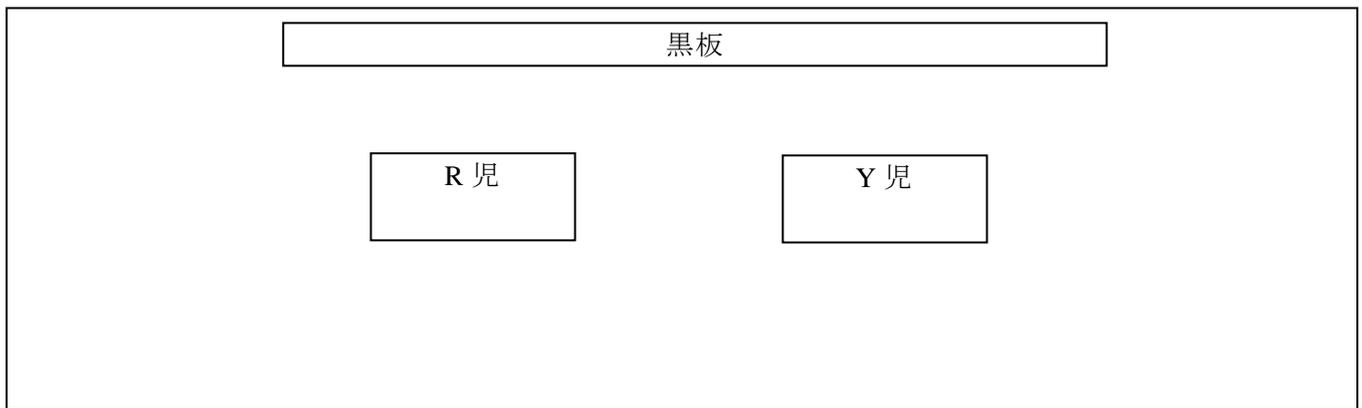
米野先生 笑顔

2. けいかくしょ を 書こう。

けいかく書

	やること
1	すきな色をきく
2	ネームカードをつくる
3	よねの先生にわたす
4	ふりかえる

6. 配置図



7. 資料

(1) 児童へ渡す手紙の内容

R児へ

アイロンビーズの ネームカード、ゆりこせんせいにも つくって ほしいです。

Y児へ

きのうは、にじいろショップでおかいものができてたのしかったよ。ありがとう。
そのときに見た、アイロンビーズのネームカードがとってもかわいかったので、先生もほしく
なりました。先生にもネームカードをつくってくれないか。よろしくおねがいします。

動画 台本

りつさん、ゆらさん、こんにちは。ゆりこ先生ですよー。

じつは、二人にお願いしたいことがあってお手紙を書きました。北垣先生に渡してあります。

もらって読んでください。

お返事楽しみにしていまーす。

前日訪問 台本

①キーホルダーとコースターを買う

②「ネームカード」という言葉を使い、気に入っていること子どもに印象付ける。